

真夏の夜のお楽しみ。海辺のビアガーデン今年も盛況



お待ちかね、夏恒例のビアガーデン。7月末から2週にわたり、金・土の夜に4日間開催されました。会場ではビールのほか、白いかの串焼きやイカ入りタコ焼きなどを販売。ライブも盛り上がり観客は大満足。心地よい夏の宵を満喫しました。スタッフの皆さま、今年もありがとうございました。



屋台がズラリ。ふるさと海士特製、美味しいと評判のイカ入りタコ焼きのレシピは極秘なんだとか。

元気な海士

地域活性化や産業振興のための活動
パワー溢れる海士人の情報を掲載！

宇野選手、インターハイで準優勝！ 全国チャンピオンまであと一歩

8月5日に沖縄で行われたインターハイ「美ら島沖縄総体2010」において、レスリング120kg級に出場した宇野信之くん（北分、隠岐養護学校）が、見事準優勝を果たしました。

全国チャンピオンには今一歩届きませんでした。島根県勢が決勝に進出したのは史上初の快挙です。今年3月の高校選抜で3位入賞してから、たゆまぬ努力でさらに実力つけた宇野くん。「目標は国体優勝。そして将来は相撲の道に進みます」と宣言し、その目標に向かって前進を続ける姿に、多くの町民が元気をもらっています。

なお宇野くんは、同月の「全国高校生グレコローマン選手権大会」（大阪府堺市）でも、120kg級で準優勝。ターゲットの本命は、10月の「ゆめ半島千葉国体2010」です。優勝目指して頑張ってください！



※ P24(最終面)に関連記事



海士町消防団

宝くじ助成金で消防用品などを整備しました

海士町消防団では、財団法人自治総合センターから助成を受け、ふるさと消防団活性化助成事業の一環として、団員のアポロキャップ、ヘルメット、及び簡易水槽、高圧ホースを購入整備いたしました。

今回の助成により、消防団の各種活動の更なる充実が図られます。



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

副町長就任のご挨拶

副町長 澤田 恭一

さわやかな季節を迎え、町民の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、私こと、6月定例議会において選任のご同意をいただき、7月23日より海士町副町長として3期目の仕事をさせていただいております。

私にとって三度みたびの選任は誠に身に余る光栄でありますと同時に、責任の重さに身の引き締まる思いです。

もとより微力ではありますが、山内町長が進める第4次海士町総合振興計画「島の幸福論」海士ならではの笑顔の追求」の実現のための様々な政策の実現に向け、感謝の気持ちを忘れることなく、初心に返り、誠心誠意努力して参りたいと決意を新たにしているところです。

つきましては、町民の皆さま方の今後一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



瑞宝双光章 受章

島津昭造さん(71歳・東)は、45年間の消防団勤務(※平成12年4月〜平成20年3月末日までの8年間は海士町消防団団長として活躍)で町の防火・防災に大きく寄与された功績により、平成22年春の叙勲を受賞されました。誠にありがとうございます。



消防団員表彰者 速報

平成22年度の消防各種表彰者が決定されました。おめでとうございます。※敬称略

《日本消防協会定例表彰》

● 精績章 前田 忠章(副団長 30年10月)

《島根県知事表彰》

● 永年勤続功労章

横辻 隆男(多井・崎班 27年4月)

《島根県消防協会会長表彰》

● 功績章 津久田隆樹(保々見班 28年2月)

● 表彰章 水上 紀之(知々井班 27年2月)

● 勤続章 宇野 伸二(北分班 21年2月)

青木 秀明(豊田班 20年2月)

上村 安史(本部班 20年2月)

菱浦、夏の大祭り

7月、菱浦地区で大祭りが行われました。14日の夜祭はあいにくの雨で中止となりましたが、皆の祈りが通じたのか15日の本祭では雨も止み、御旅が無事に出ました。神輿や神楽を観に、多くの人が集まりました。



‘舞姫’ 瀧川七海さんからお便り

宇受賀地区で初代‘舞姫’の一人として活動している瀧川七海さんからお便りをいただきましたので、ご紹介します。



7月11日の宇受賀命神社に続き、7月22日にはひまわりにて「浦安の舞い」の追加公演が行われました。祭りの日に神社へ行けなかった方にも、見ていただくことができました。(左から吉山奈津子さん、藤田真帆さん、柏原礼奈さん、瀧川七海さん)

「巫女舞を奉仕して」

7月11日、宇受賀命神社での2回目の巫女舞。このメンバーで最後までということもあり緊張していました。

今年中学生になった私を含め、正直言って、あまり乗り気ではありませんでした。ですが、練習を重ねていくにつれ、みんなが責任を感じてきたのではないかと思います。

結果的には、完璧な舞はできなかつたかもしれませんが、まだまだ不十分な点もありました。でもそれは、決して恥ずかしいことではないと思います。来年の新しいメンバーの中で活かすことができます。それが私たち一番目の舞姫の課題だと思っています。

この巫女舞をすることに よって、私たちは学んだことがたくさんあります。私が一番感じているのは、感謝です。私たちがここまでできたのも、保護者の皆さん、宮司さん、舞の先生、なにより一番大きいのは地域のみなさんのお蔭だと思っています。本当にありがとうございます。

そして、頼りない、迷惑ばかりかけたリーダーでしたが、メンバーのみんな、支えてくれてありがとうございます。

この巫女舞は、宇受賀の子供たちによって続けられます。

(海士中学校1年 瀧川七海)

オペラ歌手田中公道さん、ひまわりにてデビュー50周年記念リサイタル

7月23日ひまわりにて、NPO法人だんだんと海士町家族会の共催で、国際的テノール歌手である田中公道さん(大田市出身)のリサイタルが行われました。田中さんは、御歳73歳。1968年に東欧・旧ソ連邦での音楽祭に出演以来、国内外で1600回を超える公演を重ね、テノールの分野では世界的にみても現役で最も永く活躍しているといえます。

田中さんと海士の御縁は、岡部清子さん(福井地

区在住、さくらの家に通所)が本土で入院中に慰問で出会い、海士町に来てほしいと手紙を出したことがきっかけでした。平成16年の初来島以来、過去4回のボランティアリサイタルを開催。島前高校や海士中学校でも公演を行い、いつまでも夢を持つことの素晴らしさを伝えて下さいました。田中さんは今なお夢を持ち続け、前人未踏の挑戦をしておられます。どうか健康に気をつけて少しでも永く現役を続けていただき、また海士町でお会いできることを願っています。

(NPO法人だんだん

黒田正人)



ちびっこレスラー、頑張ってます！



交流大会での試合の様子。体育館内は熱気むんむん、暑いなか頑張りました！

第27回全国少年少女レスリング選手権大会(広島市にて7月開催)で準優勝した片桐愛南(らな)ちゃんなど、実力選手を多数擁する海士レスリングクラブ(IIAWC)。

この夏も、厳しく楽しい練習を重ねてメキメキと実力を蓄えています。

8月22日に開催された、夏恒例の「レスリング交流大会」(今年は西ノ島町で開催)では、AWCを含む島前3チームのほか本土からの4チームを含む計7チームで、試合や合同練習を行いました。

松江のクラブや、東京から遠征してきた強豪「AAC」の選手たちとの対戦や練習、海水浴などの交流は、AWCのちびっこレスラーの皆さんにとって大変良い経験になったようです。